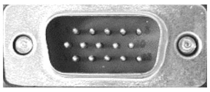
液晶プロジェクターの使用について
「利用上の注意事項」

高分子学会年次大会では、口頭発表のために液晶プロジェクターを準備します。下記の事項を遵守してご使用ください。

記

【年次大会運営委員会で用意するもの】

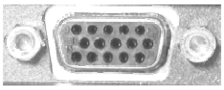
- 液晶プロジェクター（日立　CP-X327J 他）
- 接続ケーブル（コネクタはﾐﾆ D-Sub15 ﾋﾟﾝ端子(ｵｽ)）　⇒
- モニタ切替器（ｻﾝﾜｻﾌﾟﾗｲ　SW-EV4、4 台の PC の切替ができます）
- PC 用電源
- OHP（OHP による発表希望者のみ）



ミニ D-Sub15 ピン端子(オス)

【発表者が準備するもの】

- **パソコン**（ご使用予定の PC の映像出力端子（ﾐﾆ D-Sub15 ﾋﾟﾝ端子(ﾒｽ)）が異なる場合は接続アダプタをご自身でご用意ください。）　⇒



ミニ D-Sub15 ピン端子(メス)

【注意事項】

講演時におけるトラブルを極力避けるために、下記の注意事項をよくお読みください。

(1) 機材の準備

- 液晶プロジェクターは各会場に用意しております。
- **年次大会運営委員会では発表用のパソコンは用意しません。**
- 接続ケーブルのコネクタはﾐﾆ D-Sub15 ﾋﾟﾝ端子(ｵｽ)です。このコネクタとお持ちの PC の映像出力端子が異なる場合は**接続アダプタをご自身でご持参ください。**
- 音声の接続は行いませんのでご注意ください。
- 映像解像度：XGA（1024×768）。これ以上の解像度はサポートしていません。

(2) 発表当日

- 会場には自分の発表の 30 分前には到着し、会場前方の「発表者席」に着席してください。
- 年次大会では一般口頭発表 1 件につき発表時間 12 分、質疑応答/交代時間 3 分を厳守していただきます。予想外の PC 再起動などに要する時間も講演時間（合計 15 分）に含まれますのでご注意ください（PC 設定ミス等が原因の時間延長は認めません）。
- PC の操作は演者ご自身あるいは共同発表者などの協力で行ってください。
- 次項のとおり試写会場を設けております。液晶プロジェクターを導入以来、大きなトラブルは起きていませんが、試写会場での確認をお薦めします。
- 万が一のトラブルに備え、発表用データを USB メモリか CD-R で必ずお持ちください。

(3) 試写会場の設置

・年次大会会場において試写ができます（試写用液晶プロジェクターを 2 台準備）。ご希望の方は発表前に余裕をもって試写を行ってください。

＜試写会場開設期間（予定）＞

初日	9:00 ～ 16:30
2 日目	9:00 ～ 16:30
3 日目	9:00 ～ 14:30

なお、初日の午前中の発表の方で、試写をご希望の方は当日各会場にて最初の方が講演される前（9:00～9:30 の間）に試写、確認ができます。

(4) 接続に関する補足

液晶プロジェクターを効果的に利用すると印象的なプレゼンテーションが可能になる反面、演者の交替や機器の操作にもたついたりすると、逆に悪印象をもたらしてしまいます。ここでは、PC を液晶プロジェクターに接続して使用する方法を簡単に説明します。事前に十分に準備して、あなたの発表を成功させましょう！

(4-1) はじめに

・PC に液晶プロジェクターを接続しただけでは、PC の画面は投影できません。

・講演までにご使用の PC の説明書を熟読し、外部モニタへの正しい接続・切り替えの方法を確認してください。

・ここでは、一般的な接続・設定の方法を説明します。PC の機種ごとに相違がありますから、この説明だけを頼りにしてはいけません。

・Windows 機でも Mac OS 機でも、PC を再起動せずに切り替える方法があります。他の演者の持ち時間を食いつぶさないのはもちろんのこと、ご自身の持ち時間を食いつぶさないよう、手元の普通のモニタなどに接続して練習しておきましょう。

・可能であれば PC の表示を液晶プロジェクターの解像度に合わせましょう。液晶プロジェクターの表示解像度は XGA（1024×768）です。

(4-2) 演者交替の手順

液晶プロジェクターにはモニタ切替器を介して、液晶プロジェクター1 台に対して 4 台の PC が接続されるようにしてあります。

演者交替手順の概要は次のようになります。

1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 前の演題までに PC が起動した状態で、空いている接続ケーブルを自分の PC に接続します。
3. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替え、液晶プロジェクターに自分の画面を表示させます。
4. 自分の演題が終わったら、自分の PC から接続ケーブルを外します。

＊ 接続開始の目安は、自分の発表の 3 つ手前の発表から。

(4-3) 機種ごとの具体的な手順

機種ごとの具体的な手順を以降に示します。

(4-3-1 Windows 機)

Windows 機では、外部モニタが接続されているとき、内蔵モニタまたは外部モニタのいずれか、あるいは同一の画面をその両方に表示できます。連続した画面を両方に表示できる機種もあります。

注意：Windows 機は機種による機能や操作法の差異が特に大きいので、取扱説明書で操作法をよく確認してください。

1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 前の演題までに PC が起動した状態で、空いている接続ケーブルを接続します。
3. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替えます。
4. Fn+F3（Fn キーと F3 キーを同時に押す）で画面の表示先を液晶プロジェクターに切り替えます。Fn+F3 を押すごとに、内蔵→外部→両方→内蔵…と、順に切り替わります。

注意：メーカーや機種により、Fn+F5 だったりして、バラバラです。取扱説明書で操作法をよく確認してください。

5. 自分の演題が終わったら、画面表示を Fn+F3 で内蔵モニタに戻し、接続ケーブルを取り外してください。

注意：表示を戻してから切り替えないと、再起動しても内蔵モニタに表示されないことがあります。

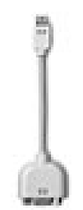
(4-3-2 Mac OS 機(VGA ディスプレイアダプタを使う機種))

外部モニタの接続に VGA ディスプレイアダプタ（右下図）を使う機種（下記）の場合、PC が起動状態のままアダプタを接続すれば、自動的にビデオミラーリングモードに切り替わります。

・VGA ビデオ出力ポートを装備した iBook

・eMac

・G4 プロセッサを搭載した iMac



VGA ディスプレイアダプタ
（各自でご持参ください）

1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. 前の演題までに PC が起動した状態で、接続ケーブルをアダプタに接続し、アダプタを PC の VGA ビデオ出力ポートに接続します。
3. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替えます。
4. 自分の演題が終わったら、接続ケーブルを取り外してください。

(4-3-3 その他の Mac OS 機)

Mac OS 機では、外部モニタが接続されているとき、内蔵モニタと外部モニタに連続した画面（デュアルディスプレイモード）または、同一の画面（ビデオミラーリング）のいずれかを表示できます。

1. 前の演題までに PC を起動し、講演に必要な書類やプログラムを開いておきます。
2. PC をスリープの状態にします。

注意：PC が起動するとき、またはスリープの状態が解除されるときに外部モニタが接続されていないと、外部モニタは認識されません。

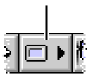
3. 前の演題までに､空いている接続ケーブルを PC の後部にある外部モニタポートにつなぎます。DVI ポートを装備した PowerBook G4 や Power Mac G4 の場合には、DVI-VGA アダプタ（右図）を介して接続します。
4. 前の演題の質疑応答が終わったら、モニタ切替スイッチを自分が接続したものに切り替えます
5. スリープ機能を解除します。液晶プロジェクターに画面が表示されます。



DVI-VGA アダプタ
（各自でご持参ください）

6. はじめ PC は自動的にデュアルディスプレイモードになっています｡PC のモニタと液晶プロジェクターに同じ画像を表示するためには、コントロールバーの「ビデオミラーリング」ボタンを使用します。

ビデオミラーリング



注意：このボタンは外部ディスプレーが接続されているときだけコントロールバーに表示されます。

7. 自分の演題が終わったら、PC をスリープの状態にし、接続ケーブルを取り外してください。

（4-3-4 その他）

・不安定な PC を使うのはトラブルの元です。PC の具合が悪かったらソフトウエアをインストールし直すなどして、調子を整えておきましょう。
・講演中に PC が省電力モードになって画面が消えたりしないよう、PC の設定を省電力モードにならないように変更しておきましょう。

以上、液晶プロジェクターによる口頭発表を成功させるため、ご協力をよろしくお願いいたします。

引用：北関東医学会　－液晶プロジェクターの使用について－
http://www.showa.gunma-u.ac.jp/~kitakan/lcd.html

【問合先】

104-0042
東京都中央区入船 3-10-9　新富町ビル 6F
（社）高分子学会　高分子学会年次大会係
Tel:03-5540-3770, -3771
FAX:03-5540-3737